



樹蔭静けさ

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL : 0155 (37) 5501
発行日 令和3年4月30日

感染対策に工夫を凝らして三柏戦開催、三条9連覇！



いつもならば両校生徒が一堂に会して応援合戦を繰り広げ、校歌や応援歌で盛り上がる三柏戦。自らのスクールアイデンティティ形成へとつながっていくとも大切な行事です。しかし、今回はコロナ感染症対策のため、時間と場所、対象生徒を分散させた開催形式となりました。そんな中ではじまった開会式。三条・宇野みゆりさんと柏葉・福田歩夢くんの選手宣誓は、「今年も勝つ」の三条に対して「屈辱を晴らす」という柏葉の意地とプライドの応酬となりましたが、「おかの言う運動会の競技は何か」という、まさかのミルクボーイネタで大いに盛り上がりました。その後、三条高校をメイン会

場に午前中は交流競技、午後は部活動交流試合（競技によっては午前にも）を実施しました。2年ぶりの第62回三柏戦の結果は、三条が9年連続の総合優勝を勝ち取りました。これで通算成績を「27勝28敗4分3中止」となりました。来年も勝って成績を5分にすぞ!!

最後になりましたが、三柏戦の伝統を絶やすまいと奔走してくれた両校生徒会と顧問の先生方、そしてご協力いただいた全ての方々へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

（三柏戦の様子はOCTV「学校大好き」で5/25から1週間放送されます。詳しくはOCTVのHPでご確認ください。）

1年宿泊研修

21日～23日の3日間、糠平で宿泊研修が行われました。コロナ感染防止を徹底したうえで、三条高校で学ぶ意義や方法をはじめ、自然体験学習、集団討論の方法などバラエティーに富んだ研修をしました。担当の先生が工夫を凝らし、生徒が協力し合う活動が多く、お互いが自然とコミュニケーションが図られるようになっていました。

最初は緊張気味だった集団も、研修を重ねる度にお互いを理解しあうことができたようで、レクリエーションでは大いに盛り上がり、年次の一体感を得ることができました。最後に笑華尊塾代表・塩谷隆治さんのモチベーションアップ講座が行われ、やる気を引き出す具体的な方法を教えていただきました。これからがスタートです。ともに手を取り、笑いながら前に進みましょう！



スクールカウンセラー紹介

今年度のスクールカウンセラーの先生を紹介します。関根奈緒美先生です。関根先生は平成26年度から本校に来ていただいています。先生から次のようなメッセージをいただきました。「今の高校生は一般的な傾向として、時間に追われて自分のことを話したくても話すタイミングがなかなかつかめないことが多いと思います。スマホが普及し、いつでもどこでも気軽に繋ぐことができることで、生身の人間ではなくデジタルの世界に頼ってしまうのではないのでしょうか。そうであってもやはり寄り添う人の存在は大切だと思います。悩みはそれぞれにあって、誰かに聞いてほしいとか、誰かを頼りたいという気持ちは変わらないのではないのでしょうか。生徒だけではなく、保護者や先生方でも気軽に声をかけていただければ有り難いです。」

来校日は保健だより等でお知らせします。悩みだけではなく、色んな相談事をしてみたいはいかがでしょうか。



第11回 進路指導部長 佐藤明彦 教諭

大いに悩め。悩めるのは今しかない！



◆旅の魅力

高校1年の時にバスでふらっと川湯温泉まで行って見たのが最初の旅でした。住んでいる釧路からのちょっとした旅だったのですが、初めてみる風景にワクワクし、どこまでもひろがる湿原に北海道の広大さを知ったのでした。そこからバスや鉄道に乗って日本全国をまわるようになりました。単に移動するだけならば速いことが一番求められるのですが、路線バスや夜行列車でゆっくり旅をするのもいいものです。地域が違えば風景が変わるのはもちろんですが、言葉が変わり文化がだんだん変わっていくのが面白いのです。その土地ならではの食べ物、特にお菓子を食べることも楽しみの一つです。バスでは運転手さんと私だけになることも多く、そこでのちょっとした会話も嬉しい気分にさせてくれます。旅っていいなあと思える瞬間ですね。

◆教師になってみて

高校は理数科に進みました。そこで数学が好きになり、そのまま数学教師を目指すことにしました。小さな頃から先生になりたいと思っていたのです。「高校で数学を教えたい」という思いでした。ところが初任の学校が結構荒れていた高校でした。生徒に囲まれて、襟首つかまれて、なんてこともありました。私も若いですから逃げることをせず真正面から向かっていきました。教師は教科を教えることだけではないということを初めて知ったわけです。でも、そこでの6年間で教師の基礎はしっかりできました。

ところが教員になって9年目に大病を患いました。今も病気とつきあっていますが、そこで人生観が大きく変わりました。当たり前のことなんでしょうが、生きていることには最後があるということを意識せざるを得なくなったのです。

◆もっと悩んでほしい

人生は一度きり。ならば、自分の進む道は本当にそれでいいのか？ 本当にやりたいことをやってみるのが人生じゃないのか。そう考えるようになりました。そしてそれを生徒に伝えるようにしています。

三条生は本当は能力は高いのです。でもそのことに自分ではわかっていない。自分を信じられていない。私の目からするとどうも自分で限界を決めてしまってるように見えるんです。勿体ないなあと思います。私が病気をしてしまったからかもしれませんが、選べる自由をしっかりと行使してほしいと思うのです。もちろんそれは難しくつらいことです。選ぶためにはよく知らなければなりません。三条高校卒業で終わりではありません。その先があります。だから、もっと悩んでほしい。悩めるのは今しかない。悩んで納得して決めたら、後悔なんてしないと思うのです。

令和2年度進路実績報告

令和2年度卒業生の進路実績は右の通りです。今年度から1クラス減り6クラスとなったため、昨年度と比べると国公立大学の合格者数は減っています。そこで国公立大学合格者数の全卒業生数に対する割合でみると、過去最高だった昨年度には及ばないものの、三条高校の歴史の中では第6位の実績であり、ここ数年の良い流れを引き継ぐことができました。四年制大学への進学率は7割弱と例年とほぼ変わりありませんでした。道内・道外の比率も昨年より道外が増え、従来とほぼ同じでした。

大学入学共通テストの導入など新しい大学入試制度が始まる年度でしたが、制度自体の変更が相次いだのはご承知のことと思います。さらにコロナ禍により、休校やスケジュールの変更など追い打ちをかけるように様々な出来事が襲いかかりました。しかし、今年度の卒業生はそのハンデを乗り越え、よく健闘したと思います。そのことが今回の良い実績に繋がったといえるでしょう。しかしながら、国公立大学の新しい学校推薦型選抜・総合型選抜ではやや苦戦しました。これら新しい選抜方法で勝ち抜くには、高校3年間で大学が求める人材にふさわしい実績と学びの地図を描くこと、さらに大学生活やその先において具体的かつ意欲的に取り組むビジョンが求められます。Cプロ等で自らの進路希望に基づく主体的な取り組みをより一層、そしてより早くから進める必要があります。

国公立大学	68
道内私立大学	130
道外私立大学	70
短期大学	5
高等看護専門学校	39
専門学校	24
公務員	5
民間就職	1
その他	16

(注) 大学は合格者数

